

- **新型コロナウイルス感染症禍における外国人雇用の状況について**

## ① 外国人求職者の分析

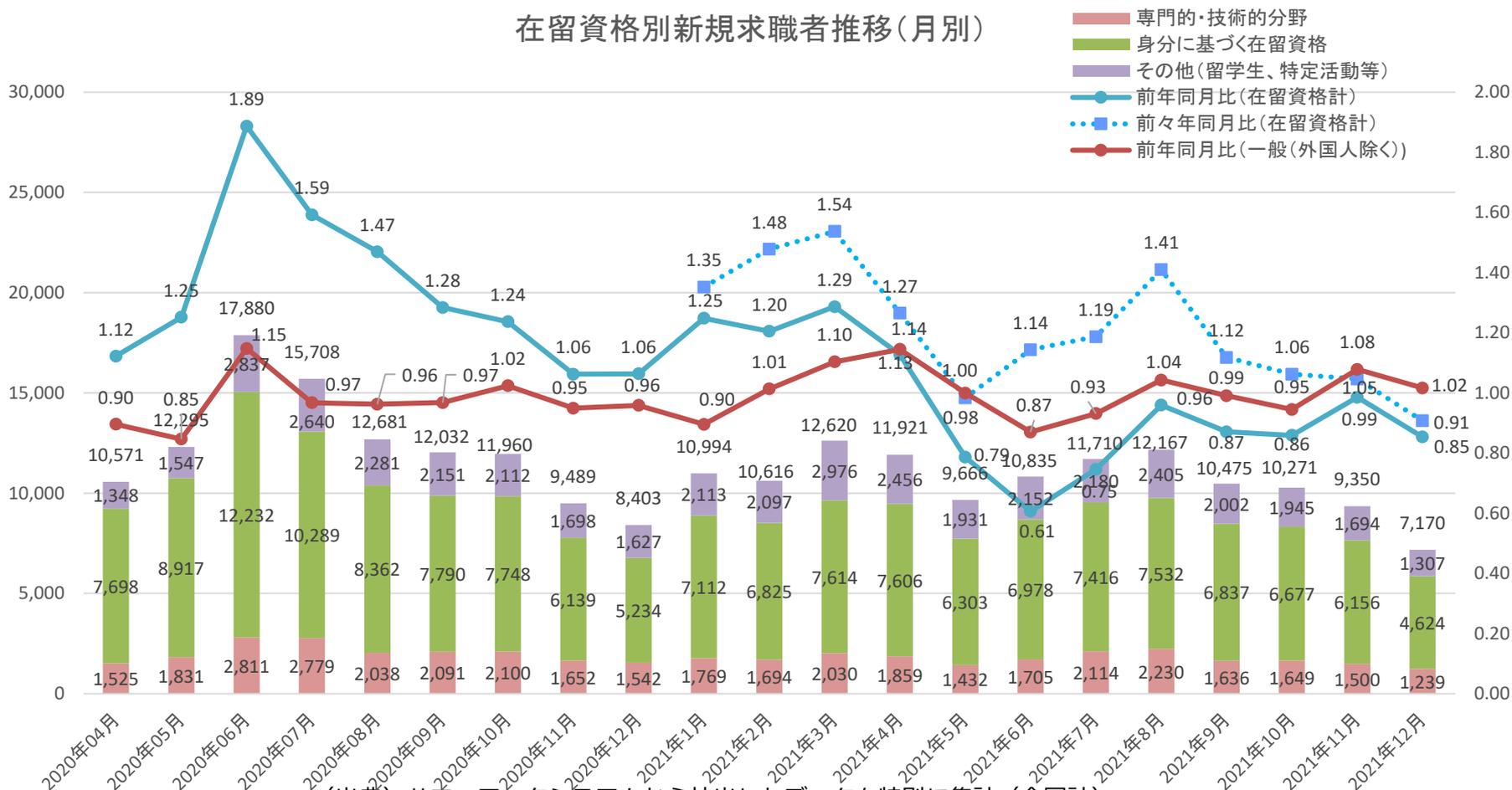
# ハローワークにおける外国人新規求職者数の推移

○ ハローワークにおける外国人新規求職者数（在留資格計）の2019年同月比は、2020年6月に急激に上昇して**1.89倍**となった後、1.06倍まで低下した。2021年は、2019年同月比※で**8月に1.41倍**まで上昇したが、直近では**0.91倍**まで低下した。

○ 求職者の大部分は、身分に基づく在留資格（永住者、日本人配偶者等、定住者等）が占めている。

※ 2020年1月以降はコロナ禍の影響があると考えられるため、2021年1月以降のデータは2019年同月との比較も追記した。

在留資格別新規求職者推移（月別）



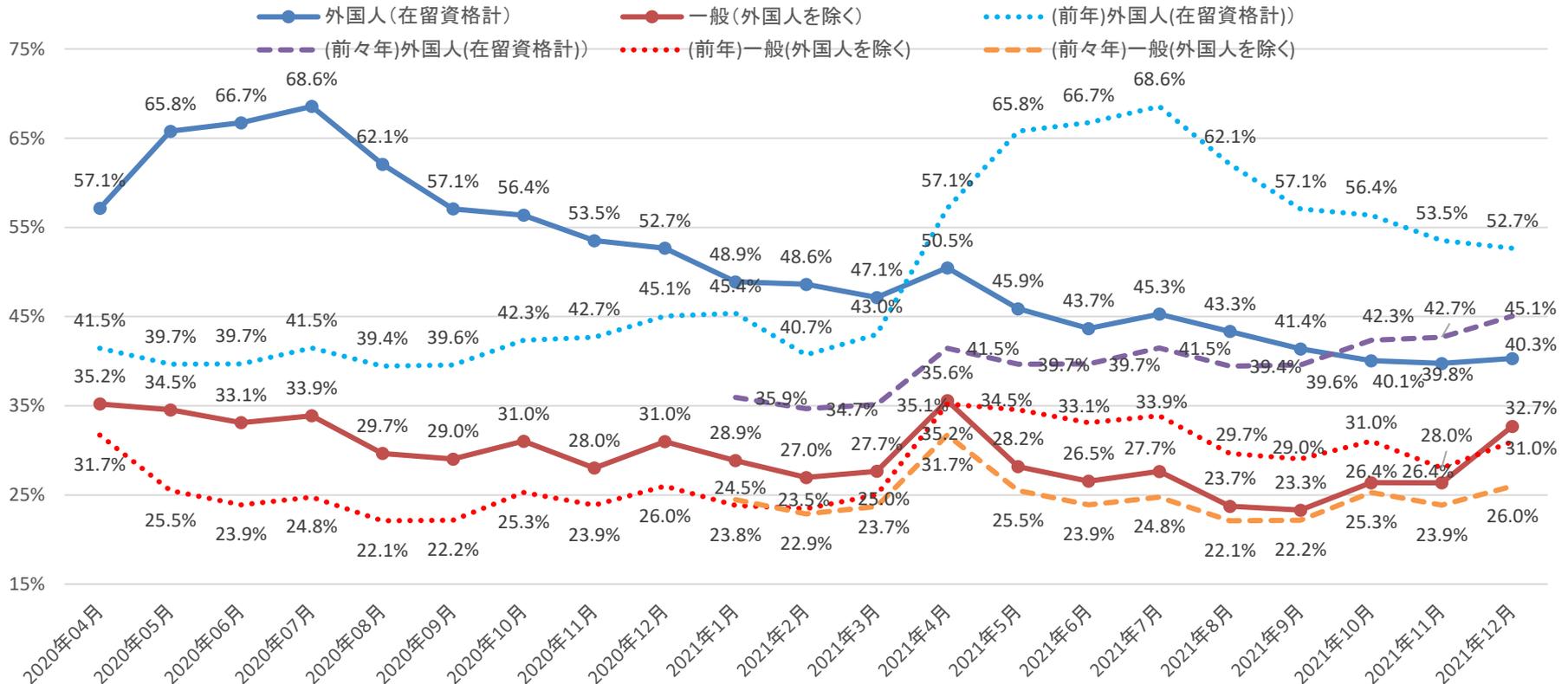
(単位：人)

(出典) ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計 (全国計)

# 外国人の非自発的離職の割合の推移（在留資格計）

- ハローワークの**新規求職者**（在職中を除く。）における**非自発的な離職（事業主都合）**の割合の推移を**外国人と一般（外国人を除く）**に分けて示す。
- 外国人の非自発的離職の割合は、2020年4月以降増加し、**7月には約7割**に達した後、漸減し、直近では40%となっている。2021年は、**10月以降、2019年同月比※で5ポイント程度下振れ**している。
- 一般（外国人を除く）と比較すると、**最大で35ポイント、直近でも7ポイント程度、外国人の方が高い**。外国人雇用はコロナ禍による景気の変動に影響を受けやすいと考えられる。
- ※ 2020年1月以降はコロナ禍の影響があると考えられるため、2021年1月以降のデータは2019年同月との比較も追記した。

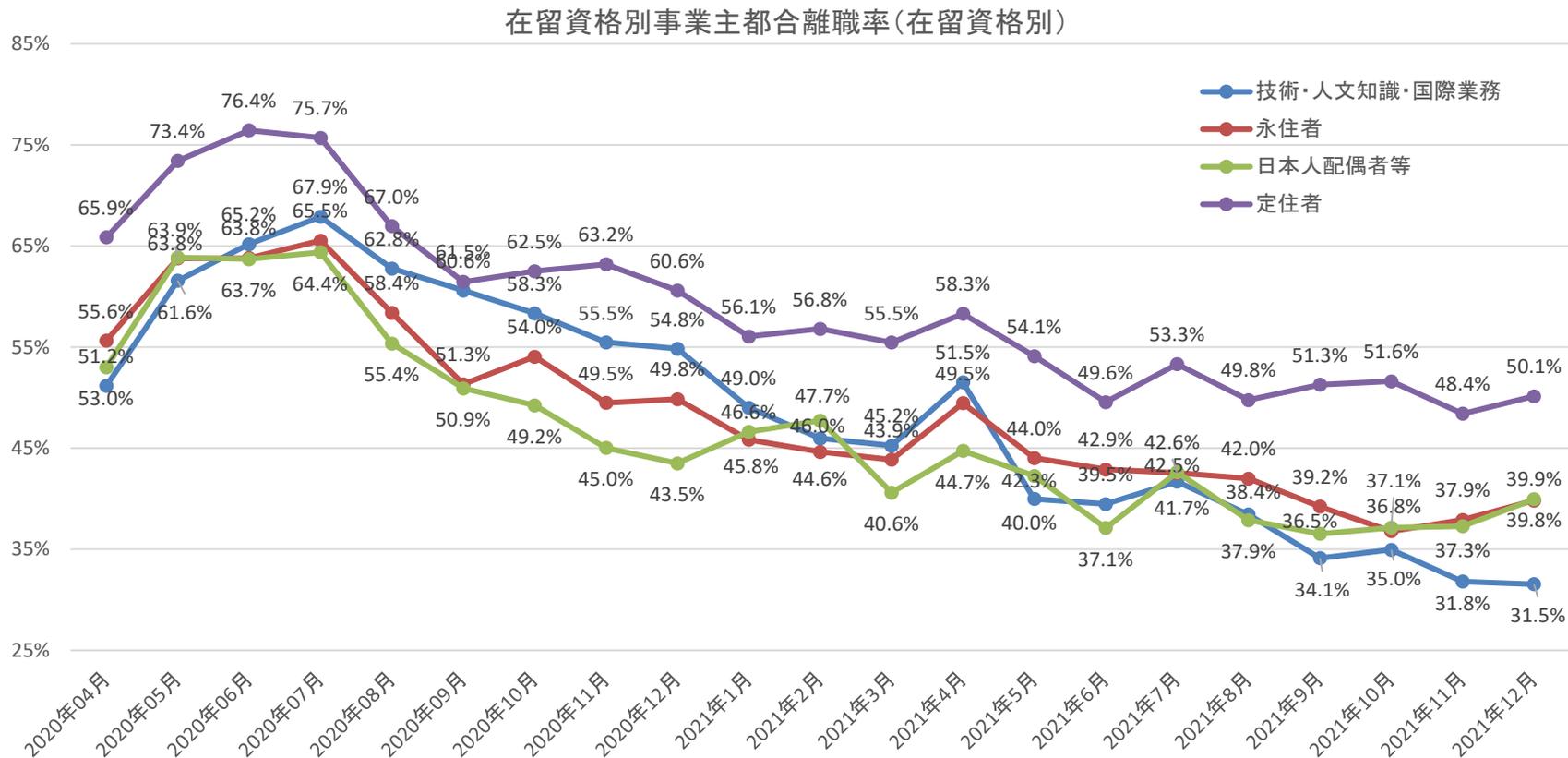
## 一般・外国人別事業主都合離職率（新規求職者）



(出典) ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計（全国計）

# 外国人の非自発的離職の割合の推移（在留資格別）

- ハローワークの新規求職者（在職中を除く。）における非自発的な離職（事業主都合）の割合を在留資格別に分析した。在留資格による差が大きい。
- 身分に基づく在留資格（永住者、日本人配偶者、定住者）については、トレンドはほぼ一致しているが、在留資格により非自発的な離職の割合には差があり、定住者において割合が最も高く、日本人配偶者等より10ポイント程度高い水準で推移している。
- 技術・人文知識・国際業務については、2020年6～2021年1月は日本人配偶者等より高い水準で推移していたが、順次低下し、直近では8ポイント程度、日本人配偶者等より低い水準となっている。

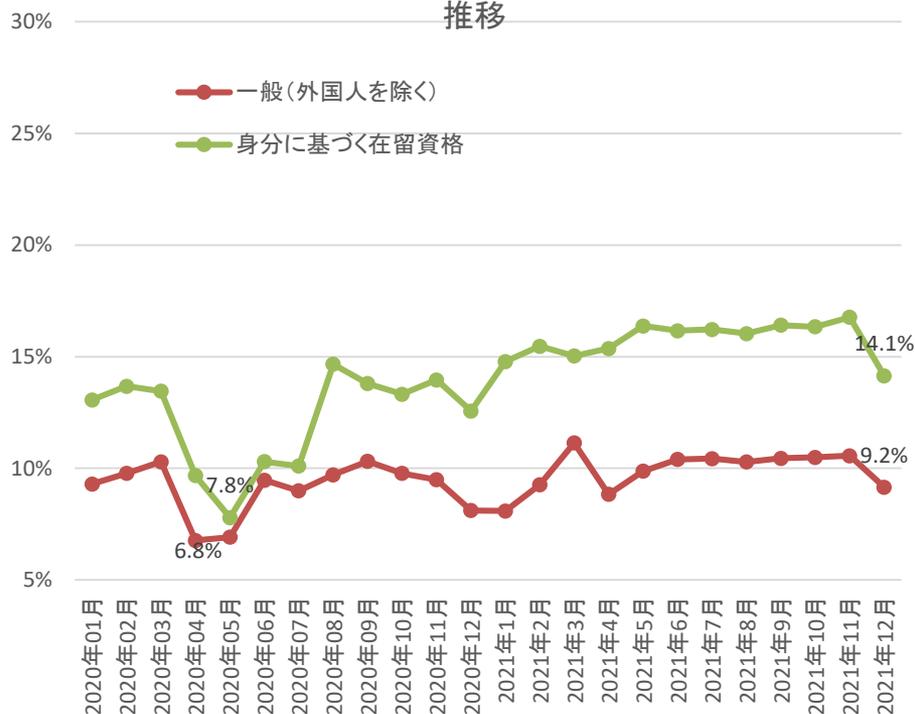


（出典）ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計（全国計）

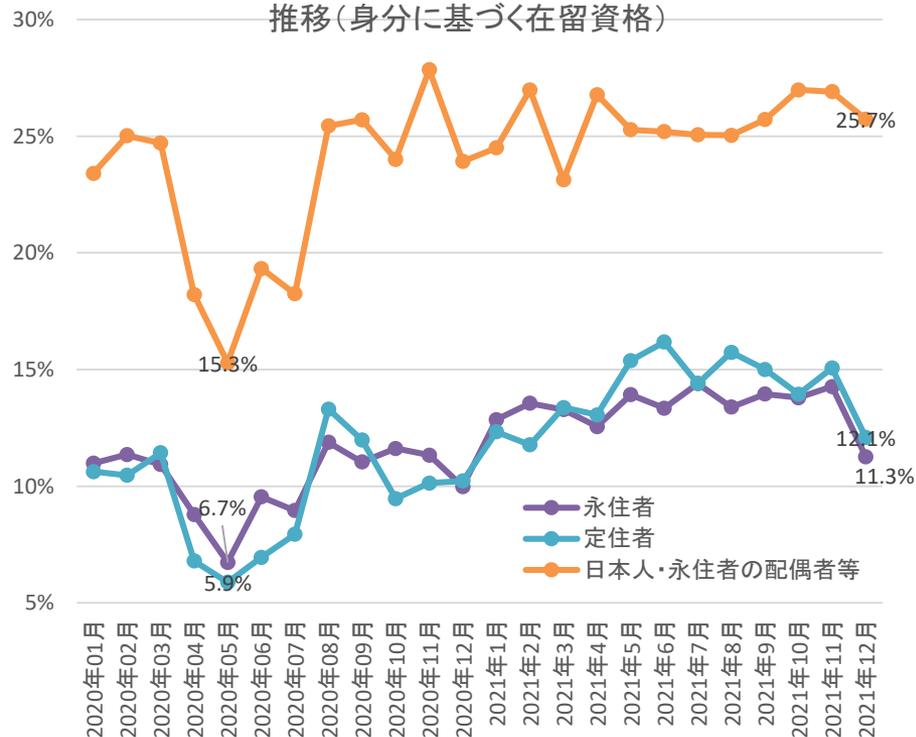
# 新規求職者中の無業者・前職非雇用の割合の推移（在留資格別）

- ハローワークの新規求職者（在職中を除く。）に占める無業者と前職非雇用者の割合を在留資格別に分析した。在留資格別の差が大きい。
- 身分に基づく在留資格（永住者、日本人配偶者等、定住者）については、2020年5月に8%に落ち込み、その後大幅に上昇し、16%程度で推移していたが、直近は14%となった。
- 一般（外国人除く）と比較すると、2020年5月から7月は、ほぼ同じ水準であったが、その後は5ポイント程度高い水準で推移している。
- 在留資格の詳細をみると、日本人・永住者の配偶者等の無業者率は、2020年5月に15%まで落ち込んだが、その後、大幅に持ち直して25%程度で推移し、永住者や定住者と比較して10ポイント程度高い水準となっている。

新規求職者数に占める無業者・前職非雇用の割合の推移



新規求職者数に占める無業者・前職非雇用の割合の推移(身分に基づく在留資格)

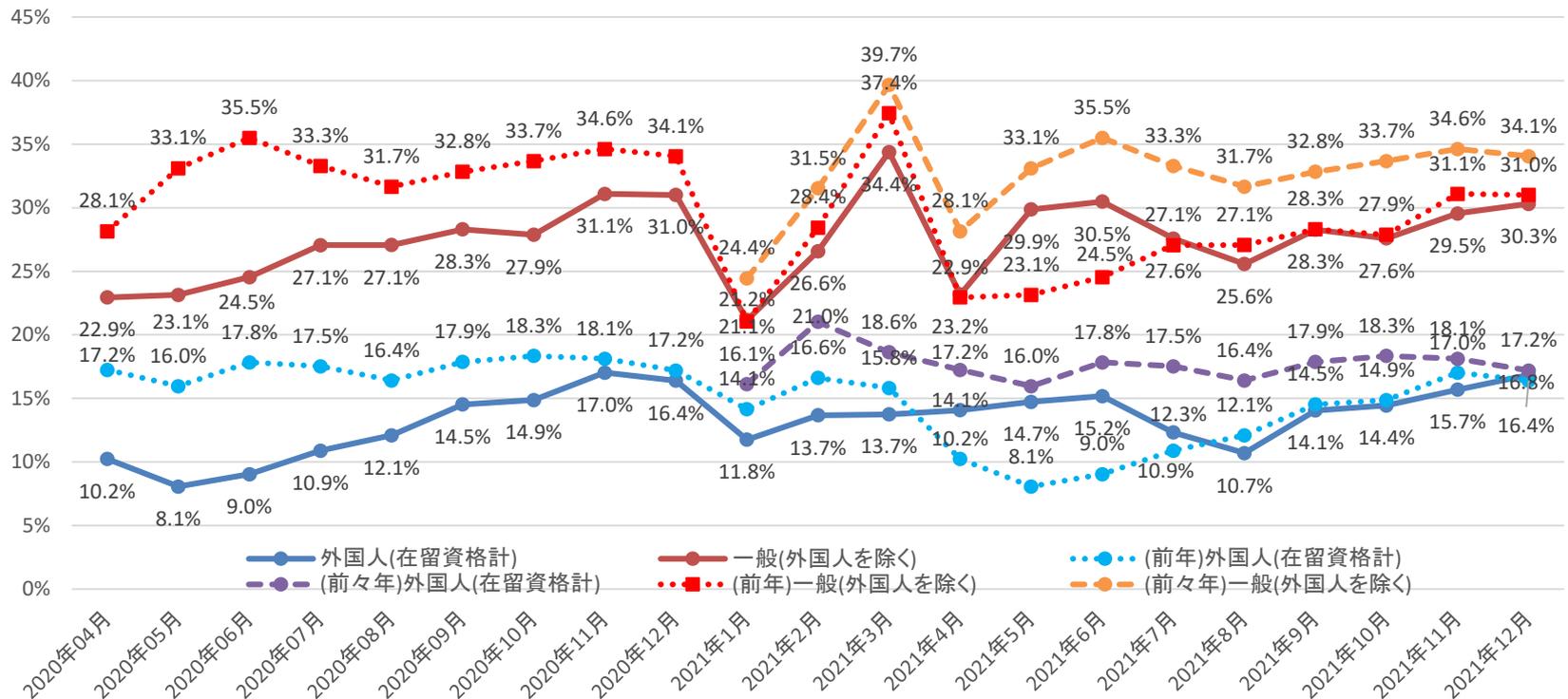


(出典) ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計（全国計）

# ハローワークにおける一般・外国人の就職率の推移

- 外国人（在留資格計）の就職率は、2020年5月には8%に低下し、2019年同月比で8ポイントの下振れとなった後、徐々に持ち直し、2021年8月から上昇傾向を維持して、直近では16%と2019年同月比\*と同水準となった。
  - 一般（外国人を除く）の就職率\*は、2020年6月に2019年同月比で11ポイント下振れした後、2021年8月以降上昇傾向にあり30%となったが、2019年同月比\*で、4ポイント程度下振れしている。
  - 外国人の就職率は、日本人と比較して15~20ポイント程度低い水準で推移し、直近では14ポイント低い。ハローワークからの意見では、この差は、職場におけるコミュニケーション能力や在留資格による制約等によるところが大きいとしている。
- ※ 2020年1月以降はコロナ禍の影響があると考えられるため、2021年1月以降のデータは2019年同月との比較も追記した。  
 ※ 月間のハローワークにおける就職者数を同一月間の新規求職者で除した値。

一般・外国人別就職率(月別)

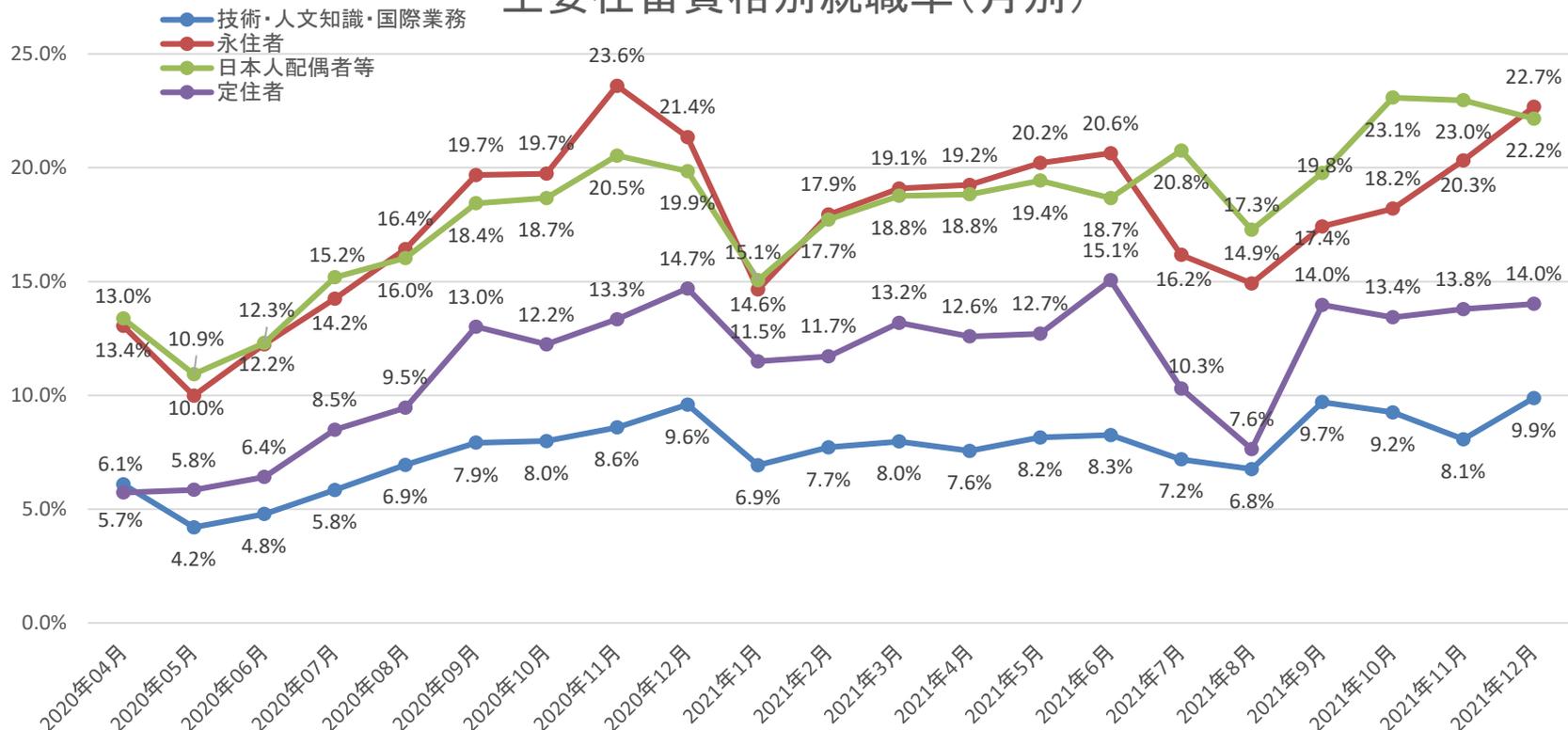


(出典) ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計(全国計)

# ハローワークにおける在留資格別の外国人就職率の推移

- 就職率は、在留資格によって差が大きい。永住者、日本人配偶者等及び定住者の就職率のトレンドはよく一致しているが、定住者の就職率は日本人配偶者等と比較して5～10ポイント低い。
- 技術・人文知識・国際業務の就職率のトレンドは身分に基づく在留資格とは異なり、就職率も永住者と比較して直近で13ポイント低い水準で推移している。
- ハローワークからの意見として、技術・人文知識・国際業務については、在留資格による職種の制約とそれに伴う求人の不足、定住者については、職場におけるコミュニケーション能力の不足等があげられている。

## 主要在留資格別就職率(月別)



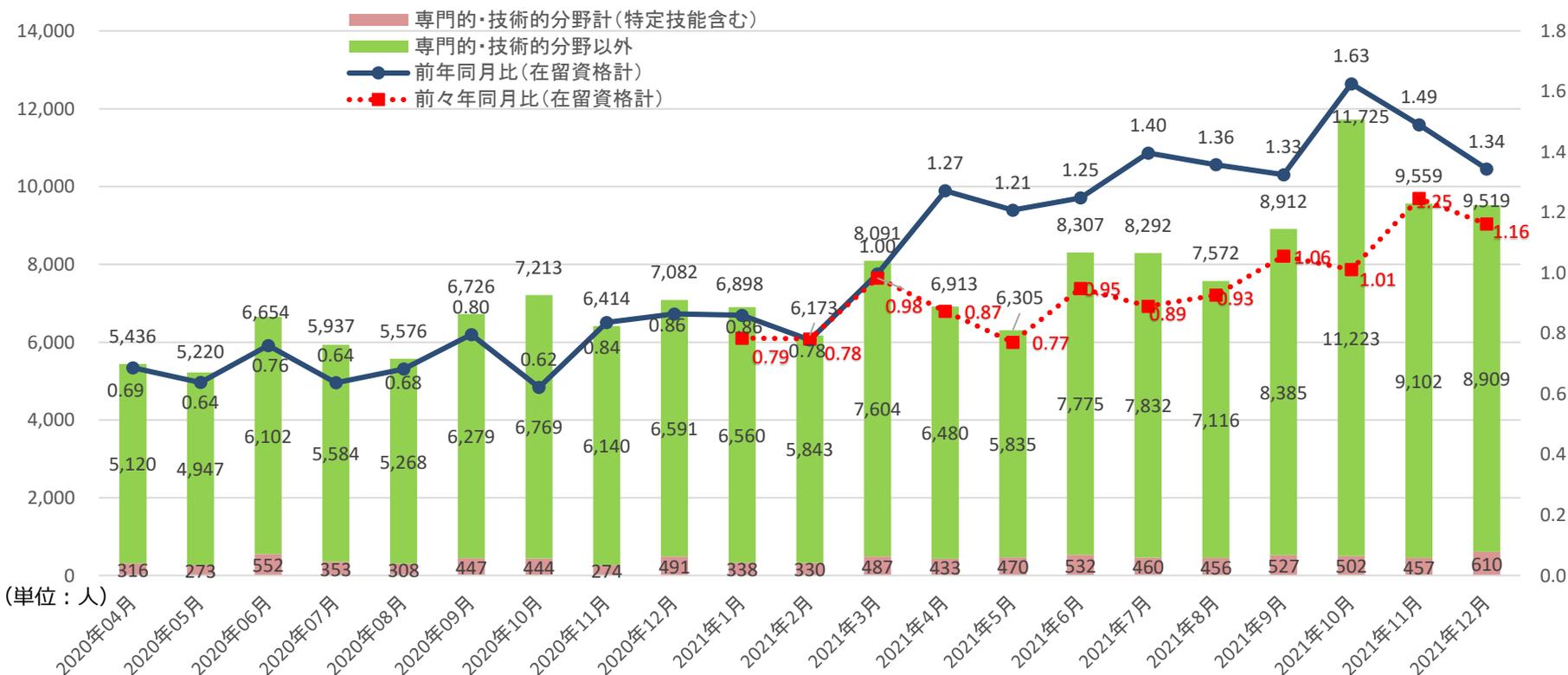
(出典) ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計 (全国計)

## ② 外国人向け求人分析

# ハローワークにおける外国人向け新規求人数の推移

- ハローワークにおける外国人向け新規求人数(在留資格計)\*は、2020年は4～10月は2019年同月比3割減、11月以降は、15%減で推移し、2021年も2019年同月比\*で10%減程度で推移していたが、昨年9月以降は、2019年同月を上回る水準で推移している。
- 求人数の大部分は、専門的・技術的分野以外の在留資格(永住者、日本人配偶者等、定住者等)が占めている。
- ※ 求人受理時に明示的に外国人向けであることを把握した求人。なお、外国人への職業紹介にあたっては、外国人向け求人だけでは不足するため、一般向けの求人から外国人の就職の可能性のあるものを積極的に把握し、紹介している。
- ※ 2020年1月以降はコロナ禍の影響があると考えられるため、2021年1月以降のデータは2019年同月との比較も追記した。

外国人向け新規求人数(在留資格別・月別)

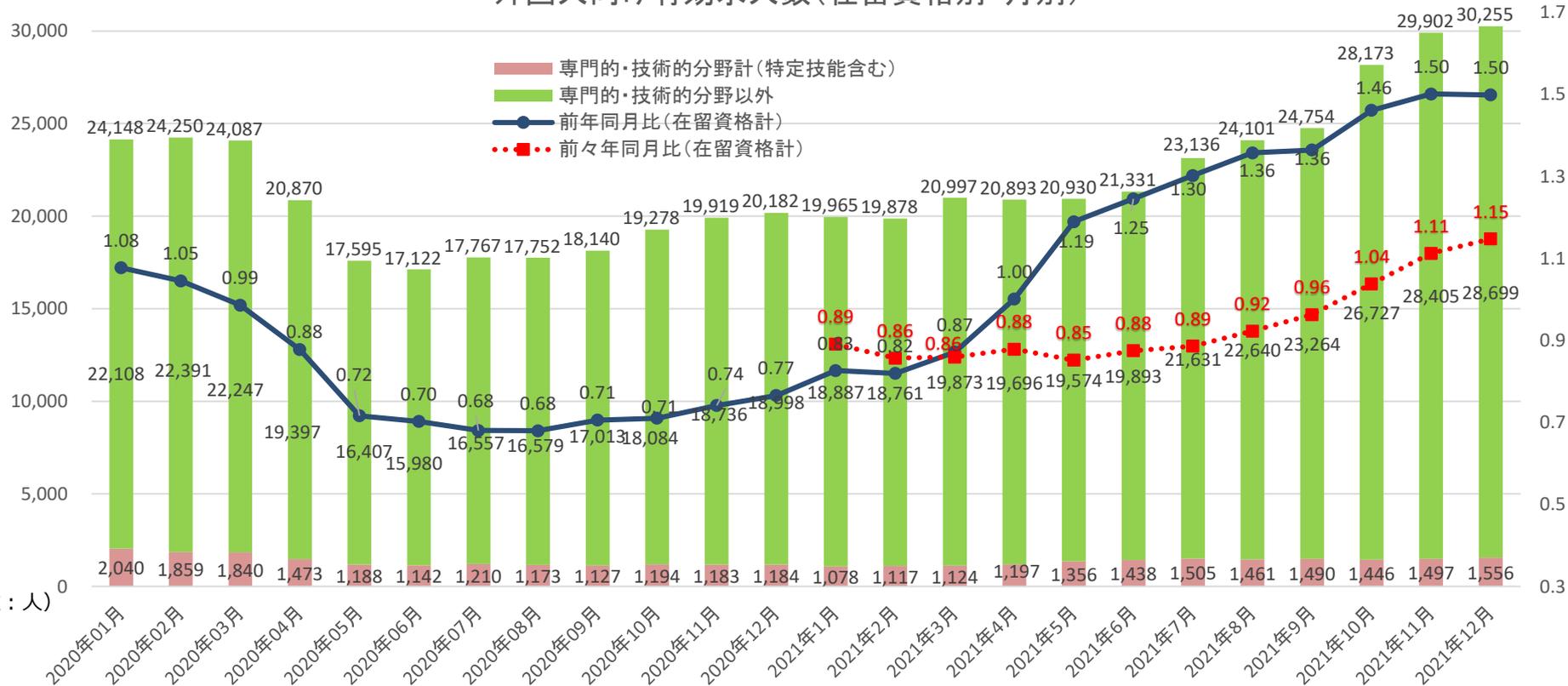


(出典) ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計(全国計)

# ハローワークにおける外国人向け有効求人数の推移

- ハローワークにおける外国人向け有効求人数(在留資格計)\*は、2020年5月に2019年同月比で3割程度減少した後、徐々に持ち直し、2021年1月以降、2019年同月比\*で緩やかに上昇を続け、2021年10月以降は2019年同月を上回る水準で推移している。
- 求人数の大部分は、専門的・技術的分野以外の在留資格(永住者、日本人配偶者等、定住者等)が占めている。
- ※ 求人受理時に明示的に外国人向けであることを把握した求人。なお、外国人への職業紹介にあたっては、外国人向け求人だけでは不足するため、一般向けの求人から外国人の就職の可能性のあるものを積極的に把握し、紹介している。
- ※ 2020年1月以降はコロナ禍の影響があると考えられるため、2021年1月以降のデータは2019年同月との比較も追記した。

外国人向け有効求人数(在留資格別・月別)



(出典) ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計(全国計)

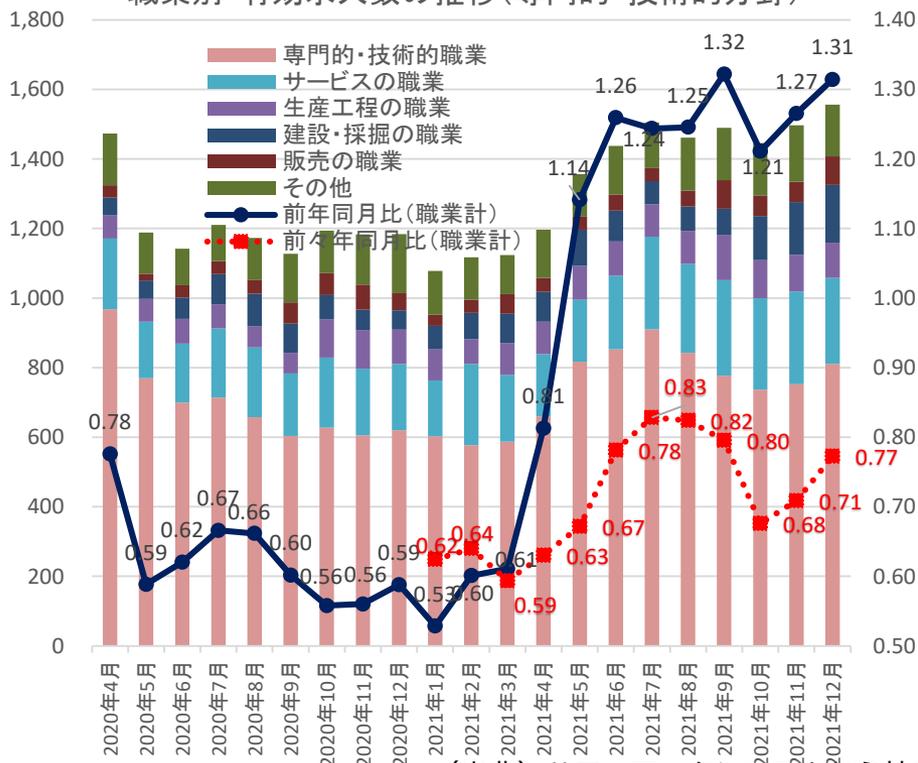
# ハローワークにおける職業別の有効求人数の推移（在留資格別）

- 専門的・技術的分野の有効求人数※は、2020年5月以降、2019年同月比4割減で推移し、2021年は2019年同月比※で徐々に改善したが、10月に再び落ち込み、直近では20%程度の減となっている。職業別では、2020年4月以降専門的・技術的が減少していたが、2021年に入り、徐々に持ち直している。
- 専門的・技術的分野以外の有効求人数※は、2020年5月に前年同月比で3割程度の減少となった後、徐々に持ち直し、2021年10月以降は、2019年同月を上回る水準で推移している。職業別では、サービス、運搬・清掃等が減少したが、持ち直している。
- 専門的技術的分野の求人は、それ以外の分野と比較して、今なおコロナ禍による景気の影響を受けている。

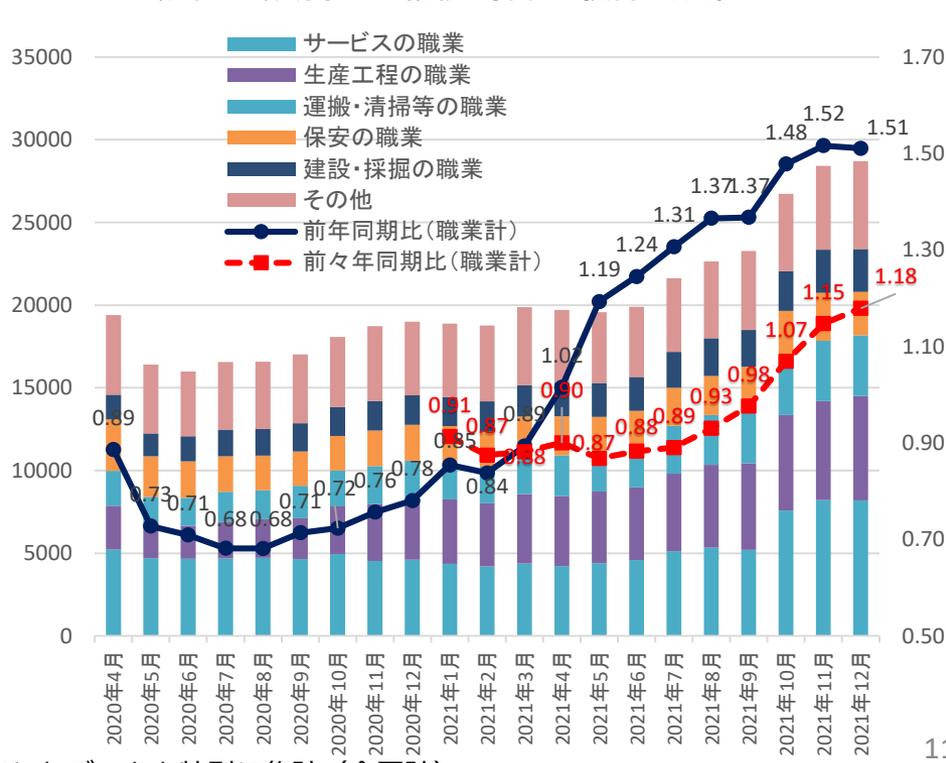
※ 求人受理時に明示的に外国人（専門的・技術的分野の在留資格を有する者）向けであることを把握した求人。なお、外国人への職業紹介にあたっては、外国人向け求人だけでは不足するため、一般向けの求人から外国人の就職の可能性のあるものを積極的に把握し、紹介している。

※ 2020年1月以降はコロナ禍の影響があると考えられるため、2021年1月以降のデータは2019年同月との比較も追記した。

職業別・有効求人数の推移（専門的・技術的分野）



職業別・有効求人推移（専門的・技術的分野以外）



(出典) ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計（全国計）

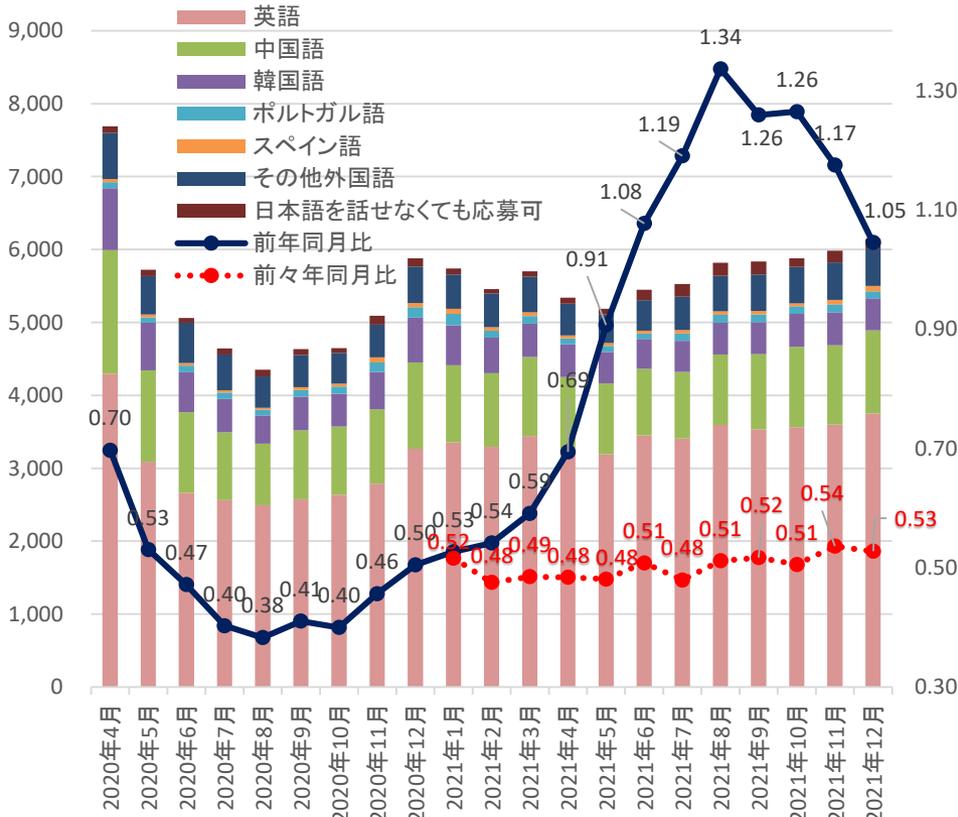
# ハローワークにおける外国語使用有効求人数の推移

- ハローワークにおける外国語使用有効求人数※は、2020年8月に2019年同月比で6割減となった後、徐々に持ち直したが、**2021年1月以降、2019年同月比※で5割減で横ばい**で推移しており、**コロナ禍の影響から脱していない**。
- 背景として、専門的・技術的分野のうち、**国際関係業務の求人が大幅に減少している**ことが考えられる。
- 外国語使用有効求人数の職業別では、**2020年5月以降、サービス、販売が減少**するなど、**インバウンドに関わる職業の減少率が大きく、現時点でもコロナ禍による景気の影響を大きく受けている**と考えられる。

※ 求人受理時に明示的に業務で外国語を使用することを把握した求人。

※ 2020年1月以降はコロナ禍の影響があると考えられるため、2021年1月以降のデータは2019年同月との比較も追記した。

## 外国語使用有効求人(月別)



(出典) ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計 (全国計)

## 職業別・外国語使用求人(有効求人)の推移(月別)

